

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【公開番号】特開2010-235463(P2010-235463A)

【公開日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-042

【出願番号】特願2009-82806(P2009-82806)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/07 (2006.01)

A 2 3 L 1/28 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 39/02 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/84 A

A 2 3 L 1/28 Z

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 39/02

A 2 3 L 1/30 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月23日(2012.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エリナシン、ヘリシウム、および グルカンを含む、ヤマブシタケ抽出物であって、

(a) ヤマブシタケ、ヤマブシタケの発酵物、ヤマブシタケの粉碎物、およびヤマブシタケ発酵物の粉碎物からなる群より選択される少なくとも 1 種を 200 以下の温度の熱水で抽出して、熱水抽出物および熱水抽出残渣を得る、第一抽出工程、

(b) 該熱水抽出残渣を高圧条件下にて 200 以上および 470 以下の温度の熱水で抽出して、熱水抽出・変性物を得る、第二抽出工程、および

(c) 該熱水抽出物および該熱水抽出・変性物を合わせて、ヤマブシタケ抽出物を得る工程、

により得られる、

ヤマブシタケ抽出物。

【請求項 2】

前記高圧条件が、 $2 \sim 40 \text{ MPa}$ である、請求項 1 に記載のヤマブシタケ抽出物。

【請求項 3】

前記工程 (b) における熱水の温度が、 $250 \sim 330$  である、請求項 1 または 2 に記載のヤマブシタケ抽出物。

【請求項 4】

前記工程 (a) における熱水の温度が、 $100$  以上である、請求項 1 から 3 のいずれかの項に記載のヤマブシタケ抽出物。

【請求項 5】

(a) ヤマブシタケ、ヤマブシタケの発酵物、ヤマブシタケの粉碎物、およびヤマブシタケ発酵物の粉碎物からなる群より選択される少なくとも 1 種を  $200$  以下の温度の熱水で抽出して、熱水抽出物および熱水抽出残渣を得る、第一抽出工程、

(b) 該熱水抽出残渣を高圧条件下にて  $200$  以上および  $470$  以下の温度の熱水で抽出して、熱水抽出・変性物を得る、第二抽出工程、および

(c) 該熱水抽出物および該熱水抽出・変性物を合わせて、ヤマブシタケ抽出物を得る工程、

を包含する、ヤマブシタケ抽出物の製造方法。

【請求項 6】

前記ヤマブシタケ抽出物が、エリナシン、ヘリシウム、および グルカンの主成分として含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記高圧条件が、 $2 \sim 40 \text{ MPa}$ である、請求項 5 または 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記工程 (b) における熱水の温度が、 $250 \sim 330$  である、請求項 5 から 7 のいずれかの項に記載の方法。

【請求項 9】

前記工程 (a) における熱水の温度が、 $100$  以上である、請求項 5 から 8 のいずれかの項に記載の方法。